

令和4年度第2回立地適正化計画懇談会意見

(令和5年1月17日開催)

○資料1「岡崎市立地適正化計画【防災指針(素案)】」について

(1) 防災指針に関する災害リスクの分析(第1章～第3章)

カテゴリ	内容
文書表現	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ハザード情報として、洪水の想定最大規模と計画規模が整理されているが、どちらの規模に基づく防災・減災上の課題の整理を行っているのかが分かりづらい。 ・浸水想定区域や想定最大規模というように、「想定」という言葉が多いため、読み手の混乱を招くこととなっている。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・想定最大規模、計画規模ともに災害リスクの分析を行っており、両方の規模に対して防災・減災上の課題の整理を行っています。分かりやすい構成を検討します。 ・用語については、国による位置づけを踏襲したものとなっています。表現の見直しを検討します。
対策方針	<ul style="list-style-type: none"> ・防災指針の方針として、想定最大規模は避難等のソフト対策、計画規模は河川整備や下水道整備等のハード対策を中心に行うという認識でよいか。また、ハード対策を行うことによって、計画規模に対しては避難が不要となるという認識でよいか。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・想定最大規模は、避難等のソフト対策による対応を検討しています。計画規模についても、市内の広範囲が浸水区域するため、ソフト対策とハード対策を組み合わせた対策を検討していきます。
対策方針	<ul style="list-style-type: none"> ・想定最大規模と計画規模における避難等のソフト対策に違いはあるのか。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・雨が降っている段階で想定最大規模か計画規模かを見極めることは困難であるため、ソフト対策の中で区別はありません。
対策方針	<ul style="list-style-type: none"> ・仮に避難行動要支援者が滞在する施設の嵩上げを対策とする場合、想定最大規模と計画規模のどちらの浸水深を考慮するのか。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・発生確率の高い計画規模を考慮するのが現実的と考えます。
分析結果と対策の関係	<ul style="list-style-type: none"> ・構成として、まず、浸水想定区域と都市情報の重ね合わせによって、避難対策に取り組むことを整理し、その後、避難可能か否かを評価する流れの方が分かりやすいと思う。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ご助言を踏まえ、構成の見直しを検討します。
分析結果と対策の関係	<ul style="list-style-type: none"> ・第4章に記載されている防災・減災の取組方針と、整理した防災・減災上の課題との対応が分かりづらい。居住誘導区域のあり方や避難についての記述がないことが原因ではないかと考える。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を踏まえ、記述の見直しを検討します。
分析方法	<ul style="list-style-type: none"> ・徒歩での避難可能距離の2kmは妥当か。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・国のガイドラインに基づく距離であり、高齢者や子ども等の避難、また、非常時であることが考慮された距離とされており、引用しています。

分析方法	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画法や都市再生特別措置法では、居住誘導区域の設定において、想定最大規模のハザードに着目した考え方が例示されている。岡崎市は、想定最大規模に加えて計画規模にも踏み込んだ検討がなされているものと捉えられる。 ・検討ステップ図では、防災・減災上の課題の整理までの記載にとどまっているため、第4章の取組方針につながるよう、図の表現を見直してはどうか。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ご助言を踏まえ、記述の見直しを検討します。
分析結果と対策の関係	<ul style="list-style-type: none"> ・先行した対策の検討が求められるエリアについて、検討ステップ図に記載がないため、第4章以降との結びつきを含めて整理できるとよいと考える。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ご助言を踏まえ、記述の見直しを検討します。
分析方法	<ul style="list-style-type: none"> ・液状化危険度が参考図として掲載されているが、地震災害に対する考え方を教えてほしい。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・地震災害については、既存の防災都市づくり計画等で整理しているため、本計画では対象としていません。
分析方法	<ul style="list-style-type: none"> ・地震災害について、既存計画で整理されている旨を記載したほうがよい。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を踏まえ、記述の見直しを検討します。
文書表現	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害による被害が生じるおそれがある区域に、居住誘導区域縁辺部という記述があるが、曖昧な表現であるため、見直したほうがよい。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を踏まえ、記述の見直しを検討します。
対策方針	<ul style="list-style-type: none"> ・居住誘導区域内の土砂災害リスクのある区域の将来的な扱いについて確認したい。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の立地適正化計画では、土砂災害のリスクがある区域を居住誘導区域から除外しているため、同様の考え方で進めていく予定です。
対策方針	<ul style="list-style-type: none"> ・防災指針では居住誘導区域外の土砂災害リスクのある区域に対して、対策を示すという認識でよいか。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・現行計画では、土砂災害のリスクのある区域を居住誘導区域から外しています。しかし、居住誘導区域外であっても居住者や建物があるため、対策を検討していきます。

(2) 防災・減災対策の取組方針と取組(案) (第4章、第5章)

発言	内容
分析結果と対策の関係	・第5章の防災・減災の取組では、第3章までに把握した課題に対する対応策という示し方の方が分かりやすいと考える。
回答	・ご助言を踏まえ、記述の見直しを検討します。
評価方法	・数値目標等の指標によって、効果検証を行うことができるようにすべきと考える。
回答	・既存計画で数値目標が設定されている取組は、目標値の記載を検討します。また、他に記載できる目標値がないかを関係課と調整します。
対策方針	・短期、中期、長期の各段階でどのような取組を行うのかを記載すべきと考える。
回答	・短期、中期、長期的な取組内容についても関係課と調整します。
対策方針	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害に対する方針として、居住誘導区域から除外することにより災害リスクからの回避を図るという記載があるが、現在の居住者に対する災害リスクが回避されるわけではないため、誤解を招かないようにしてほしい。 ・防災・減災の取組は、想定最大規模と計画規模に分けて整理することで分かりやすくなると考える。 ・ソフト対策として、避難について記載が不足していると感じる。併せて、災害発生時の情報伝達方法等についても取組があれば記載があるとよい。
回答	・ご指摘を踏まえ、記述の見直し、追加を検討します。
対策方針	<ul style="list-style-type: none"> ・防災指針で記載する取組は、実際には防災部局が実施するものもあるため、防災部局との連携が重要である。 ・岡崎市は浸水範囲が広く、早期避難が求められるため、日頃からの市民への災害ハザード情報の周知が重要と考える。防災部局が地域の防災力向上のために行っている取組があれば教えてほしい。
回答	・年1回の全市的な防災訓練のほか、出前講座を実施しており、災害リスクの周知・啓発を行っています。また、岡崎市水害対応ガイドブックを全戸配布し、地域の浸水リスクの周知・啓発を行っています。
対策方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ハード対策には、人命を守るための対策と資産を守るための対策の2つの視点があると考え。また、資産を守るための対策にも河川側の洪水対策と、浸水することを想定した都市計画的な対策の2つの視点があると考え。防災指針においては、浸水することを想定した都市計画的な対策による被害の軽減について検討する必要があると考える。 ・嵩上げ等を推奨するのであれば、具体的な浸水深を市民に伝えることの必要性も考えられる。 ・ソフト対策として企業版BCP等の取組があれば記載した方がよいと考える。
回答	・ご助言を踏まえ、ハード対策、ソフト対策ともに、記載内容を検討していきます。
対策方針	・防災・減災上のまちづくり将来像(案)として、市民・事業者と行政の連携による取組という記載があるが、想定している事業者との連携について教えてほしい。

回答	・都市機能増進施設等の管理者との連携や、企業との協定等による連携を想定しています。
対策方針	・まちづくり将来像(案)に対する説明が不足していると感じるため、見直しが必要と考える。
回答	・ご助言を踏まえ、記述の見直しを検討します。

○資料2「今後の検討スケジュール（予定）」について

- ・意見は特になし